

症例シミュレーション学習 でリアルに学ぶ!



# 手術室における 患者急変時の“緊急対応”

看護師が麻酔科医とタッグを組んで  
危機的状況に当たる具体例!

危機場面のシナリオに沿って対応を!  
(いつ何が起こるか分からない不安  
急変対応のマニュアルがない不安  
対応の優先順位が分からない不安) を解消!

**新山幸俊氏** 札幌医科大学 医学部麻酔科学講座 准教授  
1998年札幌医科大学医学部麻酔科学講座 入局、複数の関連施設を経て現職。  
日本麻酔科学会指導医、日本ペインクリニック学会専門医。著書に『PBLD形式で  
学ぶ麻酔科危機管理-麻酔科医がコマンダーとなって冷静に行動する』(克誠堂  
出版、2015、共著)ほか多数。第29回日本手術看護学会年次大会にて「そのときど  
うする?」の講師を務める。

<b>札幌</b>	18年 11月25日 (日)	道特会館
<b>東京</b>	19年 2月23日 (土)	日総研 研修室 (廣瀬お茶の水ビル)
<b>名古屋</b>	19年 4月21日 (日)	日総研ビル

[講義時間] いずれも10:00~16:00

**参加料** 一般 19,000円 会員 16,000円  
税込  
※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。  
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数15人。

プログラム

1. あらためて理解しよう~麻酔とバイタルサイン
2. **症例シミュレーション** どう動く? 「呼吸」の危機管理
  - 1) 挿管困難症 (CVCI)
    - ・声帯が確認できず挿管できない
    - ラリンジアルマスクを挿入したが換気困難で抜去 →SpO<sub>2</sub>低下
  - 2) 全身麻酔導入後の喘息発作
    - ・麻酔導入後に換気困難→両側肺野で喘鳴を聴取
  - 3) 抜管直後の呼吸不全発症時の対応
    - ・手術終了後、覚醒させていると激しい体動
    - 努力性の陥没呼吸がありSpO<sub>2</sub>が70%に、呼名に反応なし
3. **症例シミュレーション** どう動く? 「循環」の危機管理
  - 1) 危機的大量出血による出血性ショック
    - ・がんの術中、高度な癒着があったため大静脈を損傷→ショック状態
  - 2) 心筋梗塞による心原性ショック
    - ・開始3時間後ST低下 →6時間後にST・血圧・ヘモグロビンの低下
    - 輸液負荷+輸血開始したがバイタル改善せず
  - 3) 術中の心停止
    - ・局所浸潤麻酔施行 →心室性期外収縮・房室ブロックが出現
    - 高度徐脈 →心停止
4. **症例シミュレーション** どう動く? 「妊産婦と小児」の危機管理
  - 1) 超緊急帝王切開の管理~妊産婦と胎児 2人への麻酔管理
    - ・正常分娩中に胎児に高度徐脈が出現 →緊急帝王切開
  - 2) 小児患者の管理~全身麻酔は小児にとって善か悪か
    - ・4歳女児への全身麻酔下で坐骨神経ブロック施行
    - 覚醒時に強い興奮状態に
5. 手術室運営におけるリスクマネジメント
  - 1) 地震災害における対応
  - 2) 円滑な手術室運営を行う上での問題点~安全性と効率の両立

ご紹介した商品の詳細はホームページで案内中! 日総研 14408 [検索](#)



Eメールで専門業務のニーズに応える  
「今、学べる情報」をお届け。《無料》

- 話題のセミナー最新情報
- 教材(雑誌)最新号・新企画の内容
- 最新刊・改訂・増刷・試読
- 単行本・試験対策商品

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、  
毎週Eメールマガジンをお送りしています。



登録はこちら ▶ [www.nissoken.com/mm](http://www.nissoken.com/mm)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b> 手術室における 患者急変時の“緊急対応” [14408]	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所 TEL( ) - 〒 -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
	ふりがな			
	氏名 (受取確認者)			
	生年月日	西暦 19 年 月 日		
↓参加地区に✓印を	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください			
[11] <input type="checkbox"/> 札幌 11/25	お客様コード	役職・部署		
[12] <input type="checkbox"/> 東京 19年2/23			勤務先名	
[13] <input type="checkbox"/> 名古屋 19年4/21	ご連絡をお送りします。メールアドレス			送付先 自宅 ・ 勤務先

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**